

災害に備え非常持ち出し品の準備をしておこう

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難所生活に必要なもの(非常用持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

貴重品

- 現金(小銭を含む)
- 車や家の予備鍵
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- 銀行の口座番号・生命保険契約番号など
- 健康保険証
- 身分証明書(運転免許証、パスポートなど)
- 印鑑
- 母子健康手帳



情報収集用品

- 携帯電話(充電器を含む)
- 携帯ラジオ(予備電池を含む)
- 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 広域避難地図
- 筆記用具



食料など

- 非常食
- 飲料水(3日分以上。可能な限り1週間分程度)



清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- タオル
- トイレットペーパー
- 着替え(下着を含む)
- ウェットティッシュ
- ハブラシ



便利品など

- 防災ずきん、またはヘルメット
- 懐中電灯(予備電池を含む)
- 笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの)
- 万能ナイフ
- 使い捨てカイロ
- マスク
- ビニール袋
- アルミ製保温シート
- 毛布
- スリッパ
- 軍手、または皮手袋
- マッチ、またはライター
- 給水袋
- 雨具(レインコート、長靴など)
- レジャーシート
- 簡易トイレ



その他

- 紙おむつ(幼児用・高齢者用)
- 生理用品
- 粉ミルク・哺乳瓶・液体ミルク
- その他自分の生活に欠かせないもの



- ▶非常持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- ▶避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめておきましょう。
- ▶自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。
- ▶定期的に中身をチェックしましょう。

問合せ先 安全安心課 ☎444・0862

巡回バスニュース

(利用状況)

	運行日数 (火・金・日)	北部巡回ルート		南部巡回ルート		東部巡回ルート		計
		左回り	右回り	左回り	右回り	左回り	右回り	
令和元年7月	13	140人	123人	143人	163人	50人	67人	686人
累計(平成29年10月31日~)	274	2,786人	2,020人	2,766人	3,727人	1,039人	1,098人	13,436人

【巡回バスについて市の職員とお話しませんか?】

市では、巡回バスに関心のある地域や各種団体の皆様(おおむね10人以上)との意見交換会や巡回バスの利用方法などを説明する出前講座を実施しています。

意見交換会及び出前講座は皆様からのお申込みで開催します。お気軽にお申し込みください。

問合せ先 企画政策課 ☎444・1712